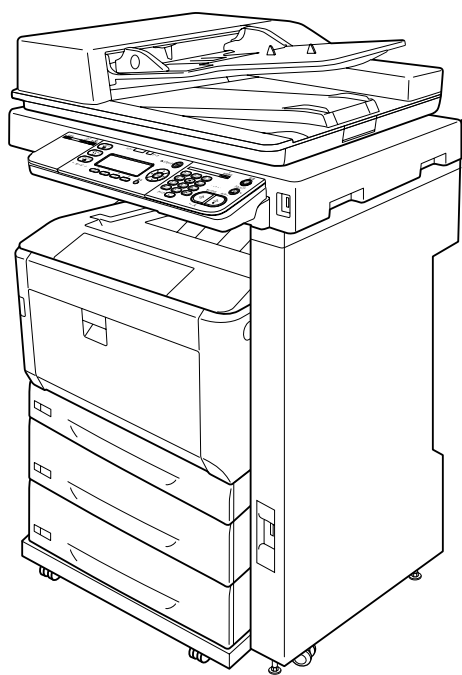


LP-M8170 シリーズ セットアップガイド



(イラストはフルオープン時)

本製品を使える状態にします。以下の手順でセットアップしてください。

- 1 使用上のご注意と設置場所の確保 ... 2
 - 2 内容物の確認と保護材の取り外し ... 8
 - 3 セットアップ作業の流れ ... 11
 - 4 組み立てと接続 ... 12
 - 5 用紙のセットと日時設定 ... 23
 - 6 動作確認とソフトウェアのインストール ... 27
- 困ったときは ... 30
- こんなことができます ... 33

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

本書以外のマニュアルのご案内

本書以外は PDF マニュアル（電子）として付属のソフトウェアディスクに収録されています。ご覧いただくには Adobe Reader やプレビュー（Mac OS X）などの PDF 閲覧用ソフトウェアが必要です。



Windows : ディスクをセットし、[電子マニュアルとソフトウェアのご案内] ボタンをクリックしてください。

Mac OS X : ディスクをセットし、デスクトップの [EPSON] アイコン - [マニュアル] フォルダー - [JA] の順にクリックしてください。

ディスクドライブがない環境やディスクを紛失してしまったときは、エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/>) からダウンロードしてください。











1. 使用上のご注意と設置場所の確保

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本製品のマニュアルをお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

また、製品は、適切な場所に設置し、十分なスペースを確保してお使いください。

記号の意味

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取り扱いについて次の記号で警告表示をしています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
	高温による傷害の可能性を示しています。
	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。
	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	特定の場所に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	アース接続して使用することを示しています。

重要

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本体が損傷したり、プリンター本体、プリンタードライバーやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考

補足説明や参考情報を記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

設置上のご注意

警告



本製品の通風口を塞がないでください。
通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。
➡ 7 ページ「設置場所と設置スペース」

注意



不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品は重いので、1人で運ばないでください。
開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
本製品の質量は以下を参照してください。
➡ 「操作ガイド」(電子マニュアル) - 「付録」 - 「製品仕様」

本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

⚠ 注意



本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。

無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。

他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。

📖 6 ページ「本製品の持ち方」

本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。

作業中に台などが思わぬ方向に動く、けがをするおそれがあります。

増設カセットユニット、プリンター台、キャビネットは必ず設置可能な組み合わせで使用してください。

転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品またはオプションに付属の固定金具は取り付け手順を確認の上、必ず取り付けてください。

転倒などによる事故のおそれがあります。

キャスターやアジャスターを解除していない状態で移動させないでください。

転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品をキャビネット / 専用プリンター台に装着した状態で移動する場合、段差や凹凸のある場所は避けてください。

転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品の組み立て作業（開梱、セットアップなど）は、梱包材を作業場所の外に片付けてから行ってください。

滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

取り扱い上のご注意

⚠ 警告



煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

本製品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したエアゾール製品を使用しないでください。

引火による爆発・火災のおそれがあります。

各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。

発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災のおそれがあります。



マニュアルで指示されていない箇所および部品の分解はしないでください。

プリンター本体の場合は、安全装置が損傷し、レーザー光漏れ・定着ユニットの異常過熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。部品（トナーカートリッジなど）を分解するとトナーこぼれの原因になります。



製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。

感電や火傷のおそれがあります。



異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。



操作パネルのディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。

万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し、石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。

⚠ 注意



本製品 / キャビネット / プリンター台の上に
乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れ
たり壊れたりして、けがをするおそれがあります。
また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあり
ます。

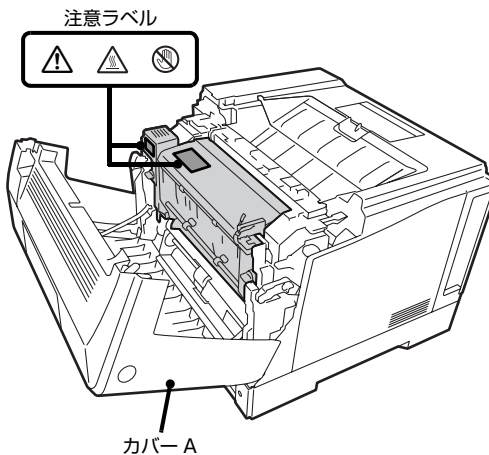
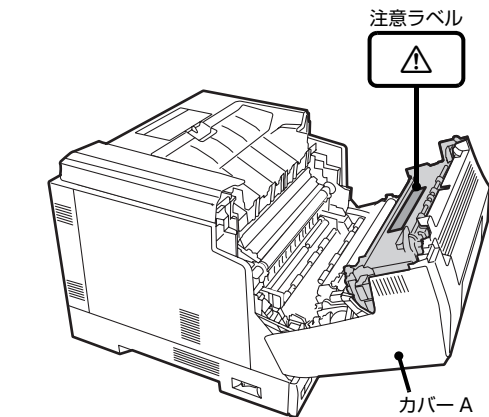
電源投入時および印刷中は、排紙ローラー一部
に指を近づけないでください。

指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそ
れがあります。用紙は、完全に排紙されてから手
に取ってください。

詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カ
セットを無理に引き抜かないでください。また、
不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いで
けがをするおそれがあります。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、
立てたり、逆さまにしないでください。
トナーが漏れるおそれがあります。

使用中にプリンターのカバーAを開けたとき
は、注意ラベルで示す定着ユニットに触れな
いください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあり
ます。



各カバーの開閉の際は本体とカバーの接合
部（継ぎ目）に手を近づけないでください。
指や手を挟んで、けがをするおそれがあります。

紙詰まりの状態では放置しないでください。
定着ユニットが過熱し、発煙・発火による火災の
おそれがあります。

⚠ 注意



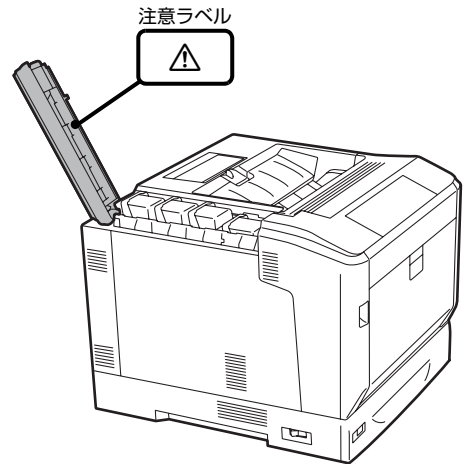
各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取
り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてく
ださい。

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プ
ラグをコンセントから抜き、全ての配線を外
したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれ
があります。

下記のような条件を避けて使用してください。
お使いの環境条件によっては、排気臭を不快に感
じることがあります。

- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンターの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

スキャナーユニットや ADF、カバー A/D/G
を開閉するときは、手や指を挟まないように
注意してください。
けがをするおそれがあります。



使用時はキャスターやアジャスターで必ず固
定してください。
固定していない場合、事故の原因となります。

電源のご注意

⚠ 警告



AC100V以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

破損した電源コードを使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口に相談してください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源コードのたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。

発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
感電・火災のおそれがあります。

次のような場所にアース線を接続しないでください。
• ガス管（引火や爆発の危険があります）
• 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
• 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。



電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。

コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。



漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。

アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを65cm以上地中に埋めた物
 - 接地工事（D種）を行っている接地端子
- アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店に相談してください。

⚠ 注意



長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品や交換部品のご注意

⚠ 警告



消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）を火の中に入れてください。

トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。

こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。

こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。

⚠ 注意



こぼれたトナーを吸引したり、皮膚に触れないようにしてください。

トナーは人体に無害ですが、処理時にはマスクや手袋を着用してください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。



消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）は子どもの手の届かない場所に保管してください。

取り扱いを誤ってけがをしたり、トナーが漏れるおそれがあります。

トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- 目に入ったときは、水でよく洗い流してください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出してください。吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。

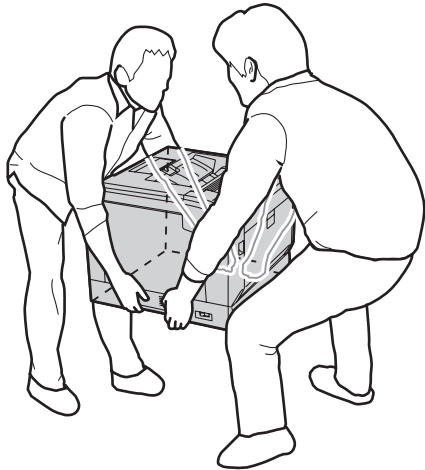
消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。

トナーがこぼれて、プリンターの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

本製品の持ち方

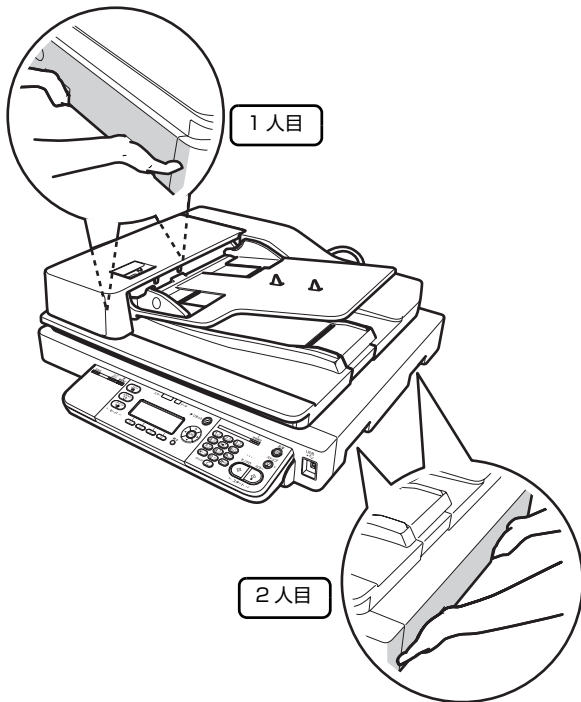
プリンター部

必ず 2 人で持ち上げてください。前後でプリンターを持ち、イラストを参照して手を掛けて運んでください。



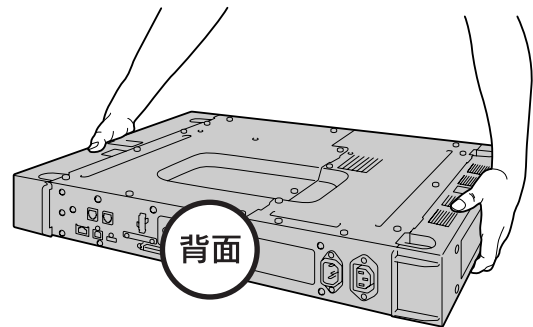
スキャナーユニット

必ず 2 人で持ち上げてください。図のように取っ手に手を掛けて運んでください。



コントローラーボックス

図のように手を掛けて運んでください。



設置場所と設置スペース

次のような場所に設置してお使いください。

- 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
☞『操作ガイド』（電子マニュアル）－「付録」－「製品仕様」
- 風通しの良い場所
- 本製品の通風口を塞がない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 以下の環境条件を満たす場所
☞『操作ガイド』（電子マニュアル）－「付録」－「製品仕様」

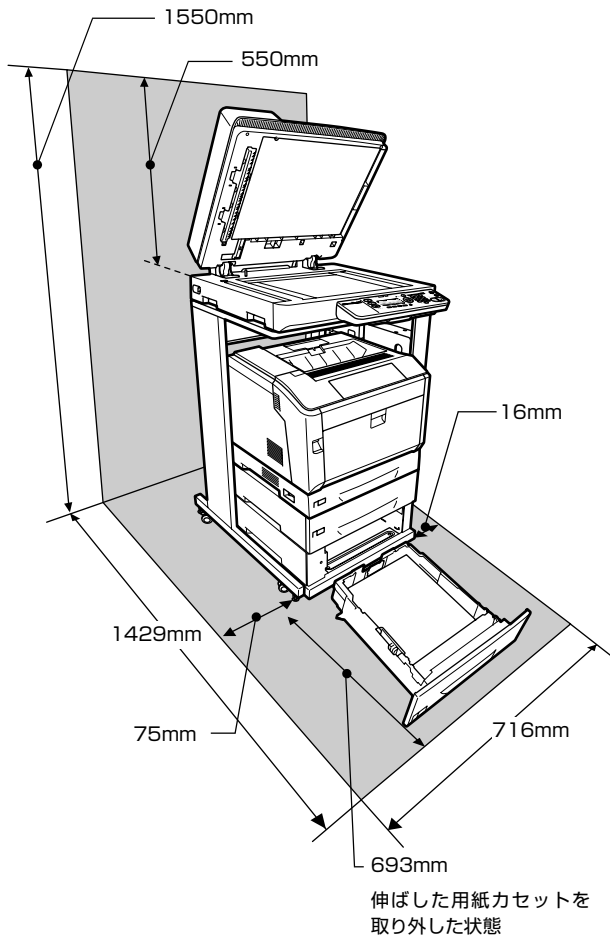
！重要

以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因となります。

直射日光の当たる場所	ホコリや塵の多い場所
温度変化の激しい場所	湿度変化の激しい場所
火気のある場所	水に濡れやすい場所
揮発性物質のある場所	冷暖房器具に近い場所
震動のある場所	加湿器に近い場所
テレビ・ラジオに近い場所	

静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

また、本製品をお使いいただくために必要なスペースを確保してください。



2. 内容物の確認と保護材の取り外し

内容物の確認とマニュアルの紹介

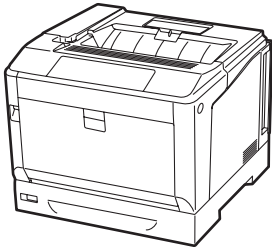
4箱に分かれて梱包されています。以下のものがそろっていること、それぞれに損傷がないことを確認してください。

万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

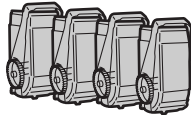
USB ケーブルや LAN ケーブルは同梱されていません。使用状況に応じたケーブルを別途ご用意ください。

プリンターの箱

□プリンター



□トナーカートリッジ (4個)



□ソフトウェアディスク



ソフトウェアディスクに収録されている電子マニュアルは以下です。電子マニュアルの見方は本書表紙の「本書以外のマニュアルのご案内」で説明しています。

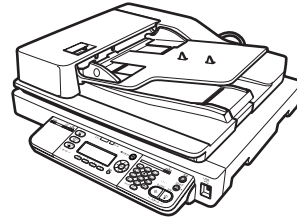
- 操作ガイド (PDF マニュアル)
使い方の概要、トラブル対処法、ソフトウェアの説明などを掲載しています。
- ネットワークガイド (PDF マニュアル)
本製品をネットワーク環境で使用するための情報を掲載しています。

ソフトウェアディスクには以下のようなソフトウェア (Windows 版) が収録されています。

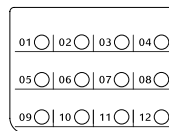
- プリンタードライバー (印刷用ソフトウェア)
- EPSON Scan 2 (スキャン用ソフトウェア)
- Offirio PC-FAX for MFP (ファクス用ソフトウェア)
- EPSON ステータスマニタ (プリンター監視)
- EpsonNet Print (Windows の TCP/IP 直接印刷)
- EpsonNet Config (ネットワーク設定)

スキャナーユニットの箱

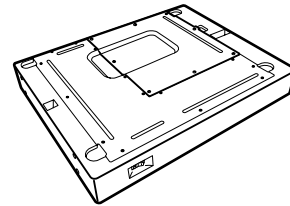
□スキャナー



□ワンタッチキーシート (2枚) ファクスモデルのみ



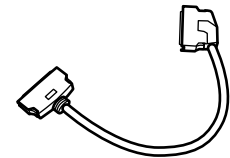
□コントローラーボックス



□プリンター電源コード



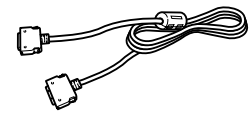
□スキャナーケーブル



□電源コード

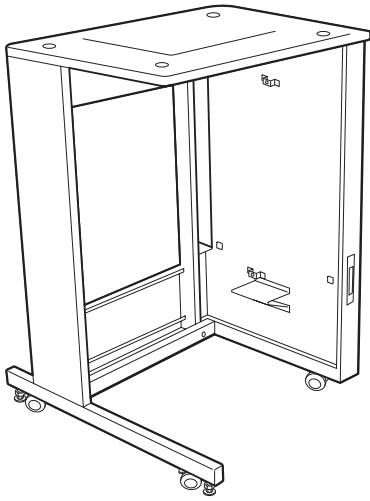


□プリンターケーブル



ラックの箱

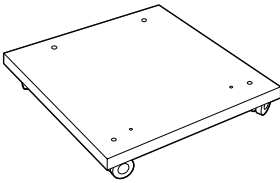
□ラック（組み立て後のイメージ図）



□ケーブルフック（2個）



□プリンター台



□ネジ（4個）



□ガイドピン（2本）



□短ネジ（20個）

ラックの組み立てで 18 個、本書に掲載の組み立て作業で 2 個使います。

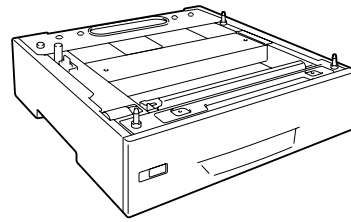


同梱されている図のようなケーブルフックは本製品では使いません。

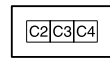


増設 1 段カセットユニットの箱

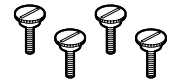
□増設 1 段カセットユニット



□カセット番号ラベル



□ネジ（4個）



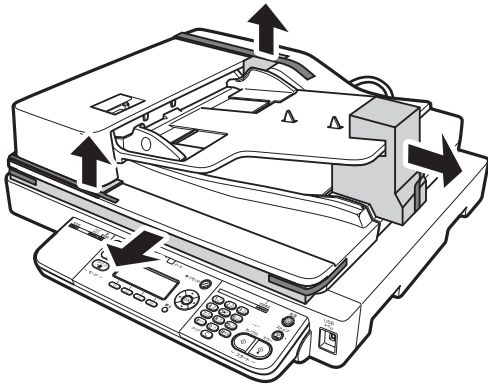
保護材の取り外し

！重要

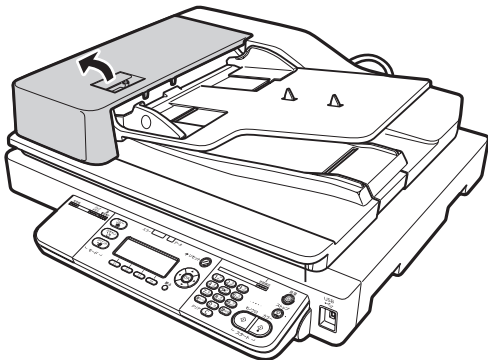
保護材やテープは全て取り外してください。取り残しがあると、故障の原因になります。

- 1 コントローラーボックスやスキャナー、プリンターに貼ってあるテープや保護材を全て取り外します。

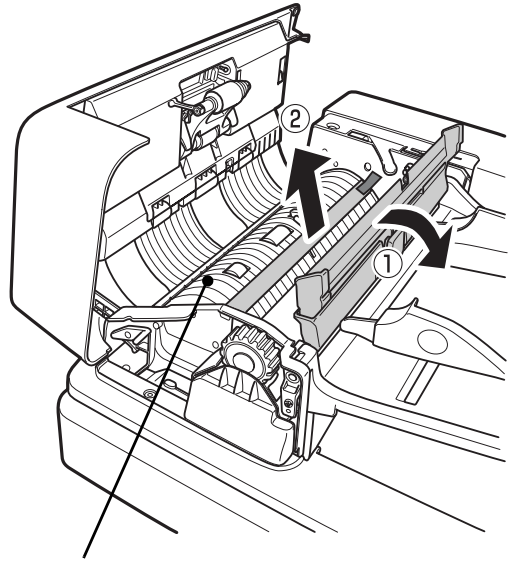
例：スキャナー部の保護材



- 2 カバー開閉用の取っ手を引いて、ADF カバーを開けます。

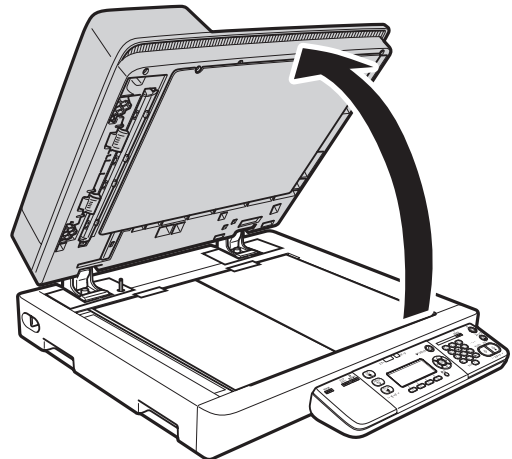


- 3 ①内部のカバーを開け、②テープと保護材を全て取り外します。

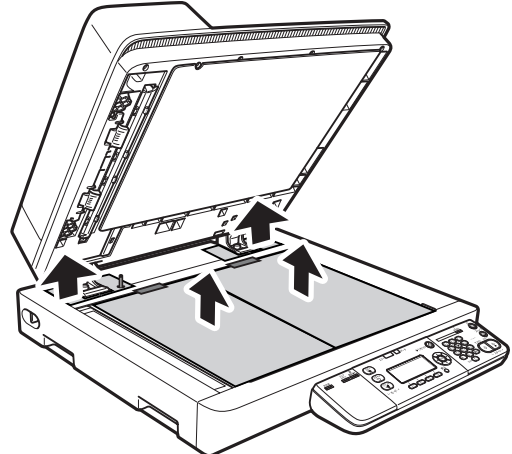


⊘ 透明のシートには触れないでください。
コピー品質の悪化や紙詰まりの原因になります。

- 4 原稿カバーを開けます。



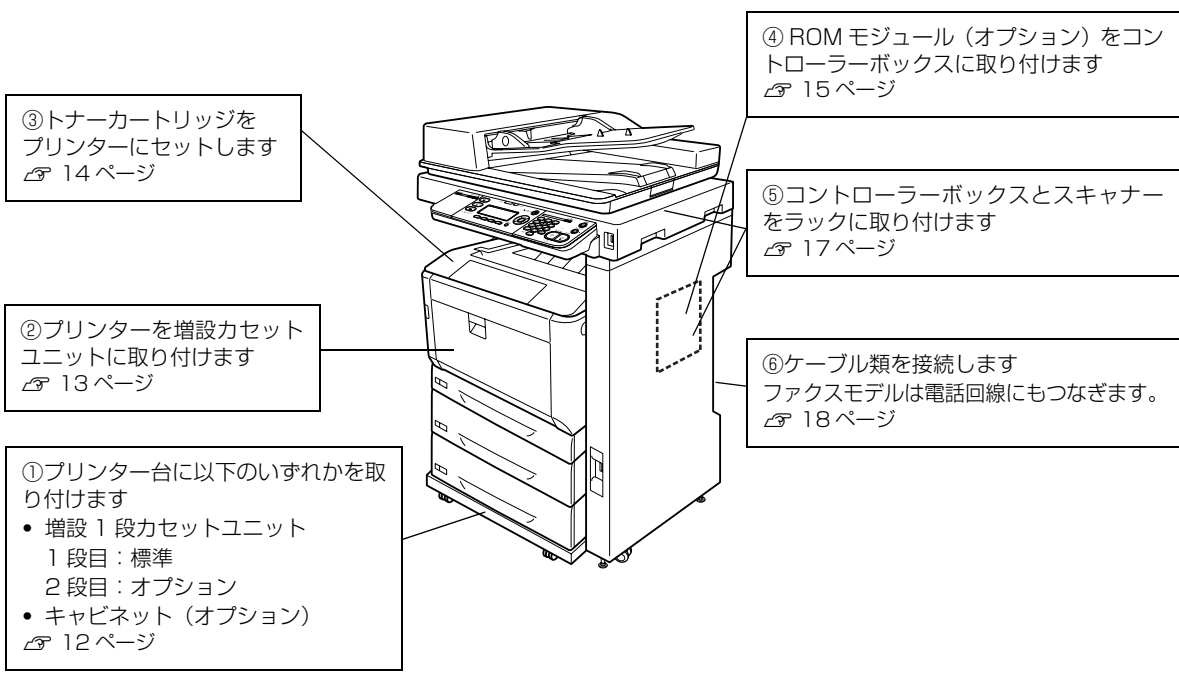
- 5 保護材を全て取り外します。



3. セットアップ作業の流れ

4. 部品を組み立て、ケーブルで接続します 12 ページ

①～⑥の番号に沿って作業します。取り付けないオプションはスキップしてください。
完成イメージは増設カセットユニットを2段取り付けた状態です。



5. 用紙をセットし、日時やファクスの設定をします 23 ページ



6. 印刷とコピーができるかを確認し、ソフトウェアをインストールします 27 ページ

オプションを後で付けたいときは…

主電源とプリンター部の電源を切り、ケーブルや電源コードを全て取り外してから、「4. 組み立てと接続」を参考にして取り付けてください。

4. 組み立てと接続

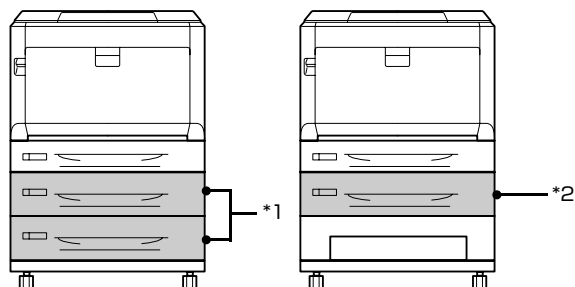
作業の前に損傷のないことを確認してください。万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。コインまたはプラスドライバーをあらかじめ用意してください。

安全に作業を進めていただくために、以下の注意事項を事前に必ずお読みください。

☞ 2 ページ「1. 使用上のご注意と設置場所の確保」

① プリンター台にカセットユニットを取り付ける

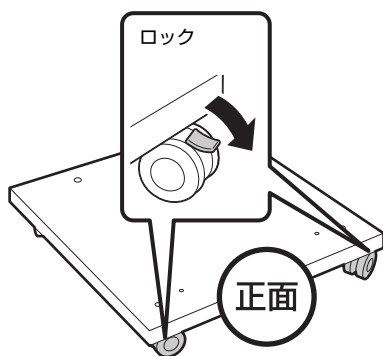
専用プリンター台には、増設 1 段カセットユニット（以降「カセットユニット」）またはオプションのキャビネット（型番：LPMPD3）が取り付けられます。



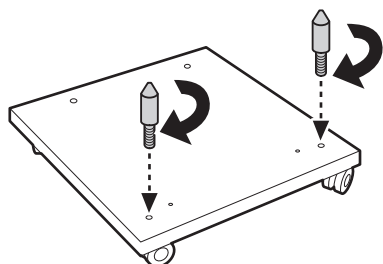
*1 カセットユニットは 2 段まで増設可（1 段目は標準）

*2 キャビネット使用時のカセットユニットは 1 段のみ。キャビネットへの取り付けは、キャビネットのマニュアルを参照してください。

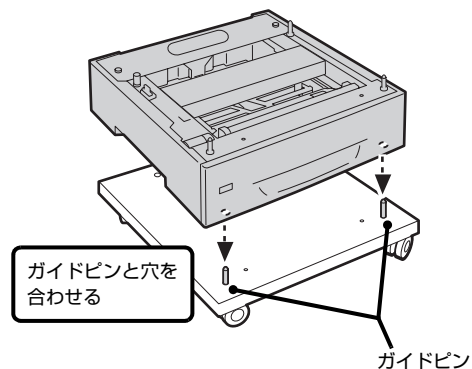
1 平らな場所に置き、前側のキャスター 2 箇所をロックします。



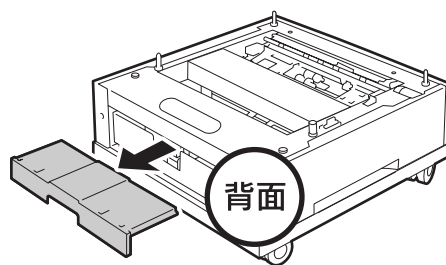
2 ガイドピンを 2 箇所取り付けます。



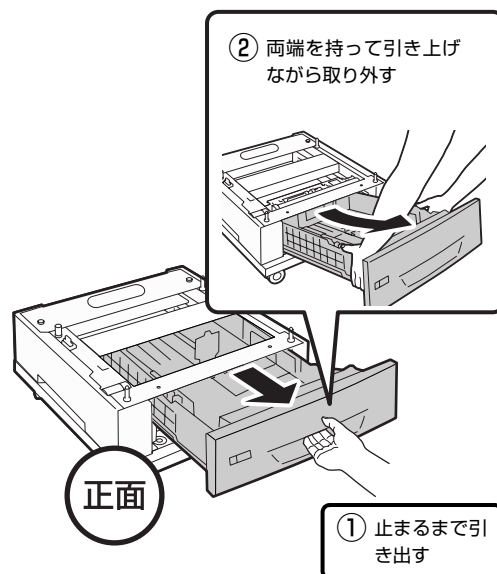
3 カセットユニットを載せます。



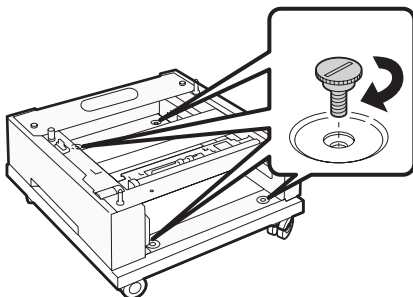
4 カセットユニットの背面カバーを取り外します。



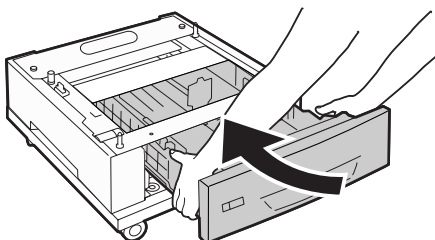
5 用紙カセットを取り外します。



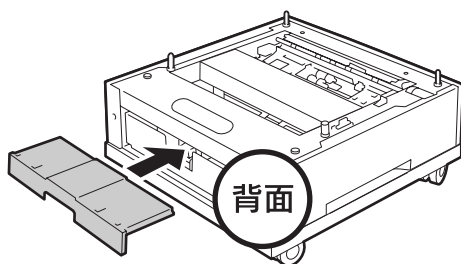
6 付属のネジ（4個）で固定します。



7 用紙カセットをセットします。

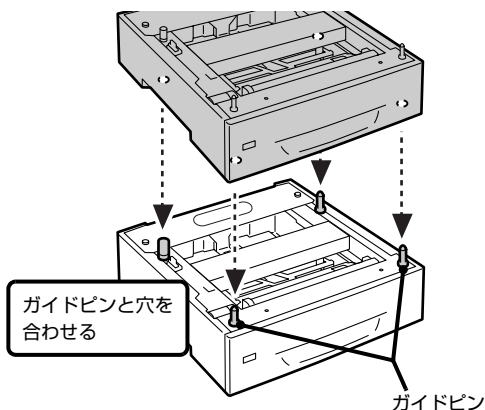


8 背面カバーを取り付けます。



カセットユニットをもう1段増設する場合は9に進みます。
この上にプリンターを載せる場合は「②プリンターを取り付ける」に進みます。

9 カセットユニットを重ね、4から8の作業を繰り返します。



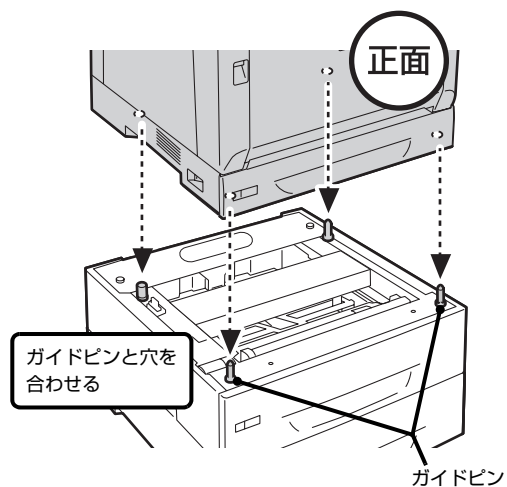
10 取り付けしたオプションをできるようにします。
取り付けただけでは使えません。セットアップ後に、本製品の操作パネルやプリンタードライバーで認識されているか（使えるようになっているか）を確認してください。

☞ 31 ページ「給紙されない、オプションが選べない」

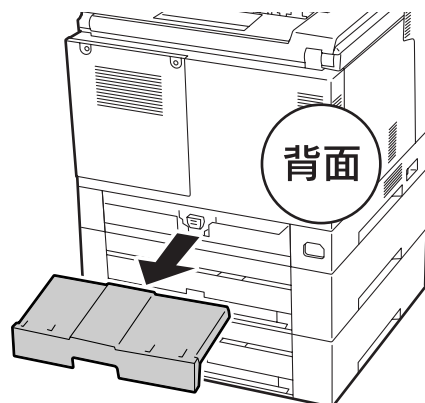
② プリンターを取り付ける

増設 1 段カセットユニットにプリンターを載せます（イラストは 2 段増設時）。

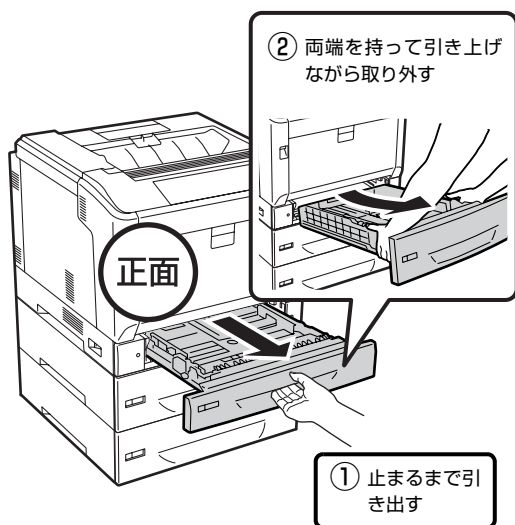
1 プリンターを載せます。



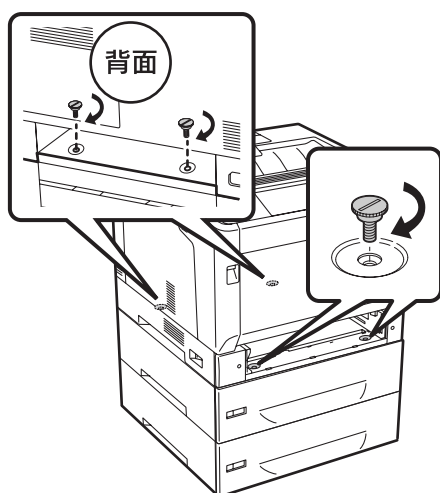
2 プリンターの背面カバーを取り外します。



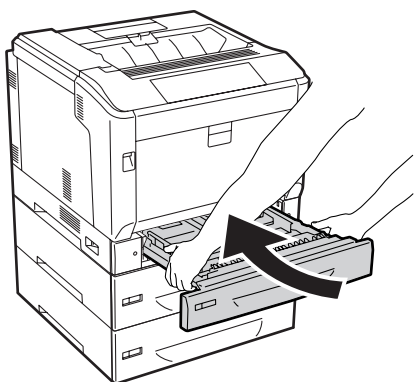
3 プリンターの用紙カセットを取り外します。



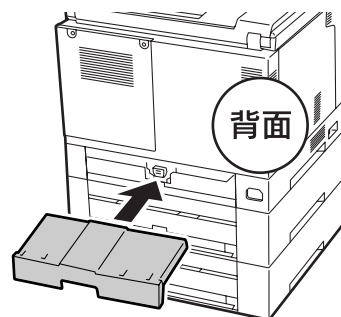
4 カセットユニットに付属のネジ（4 個）でプリンターを固定します。



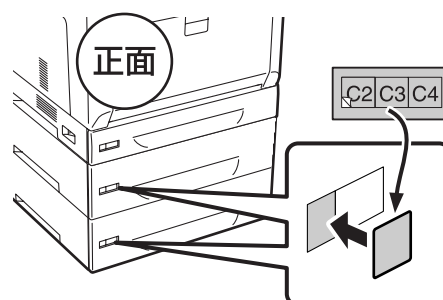
5 取り外した用紙カセットをセットします。



6 取り外した背面カバーをセットします。



7 カセット番号のラベルを貼り付けます。
上から順にカセット 2 (C2)、カセット 3 (C3) です。

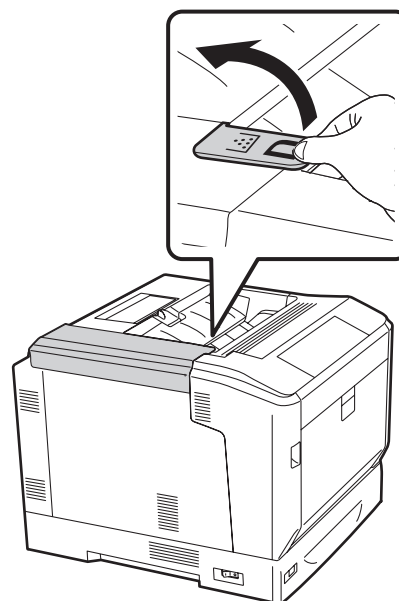


③ トナーカートリッジをセットする

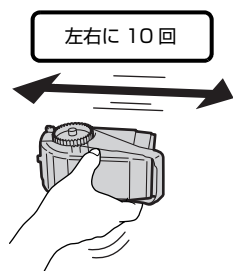
トナーカートリッジは、どの色からセットしてもかまいません。各色共通の作業です。

イラストはカセットユニット部を省いています。

1 カバー D を開けます。

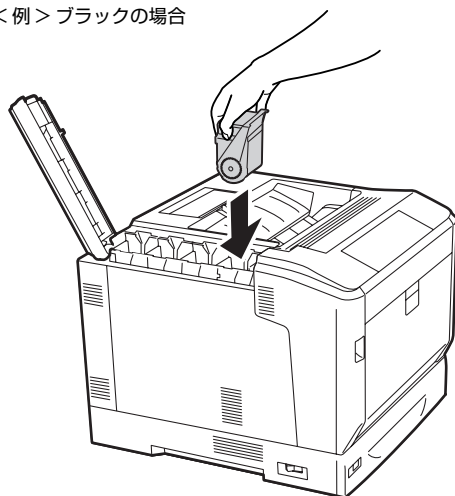


2 トナーカートリッジを振ります。

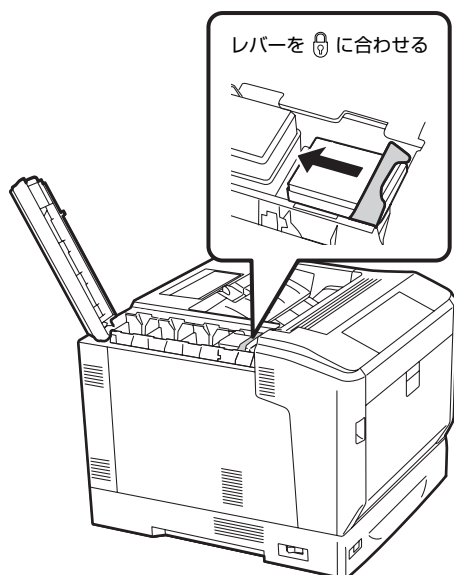


3 トナーカートリッジをセットします。
各色の位置を確認してからセットしてください。

<例> ブラックの場合



4 トナーカートリッジをロックします。

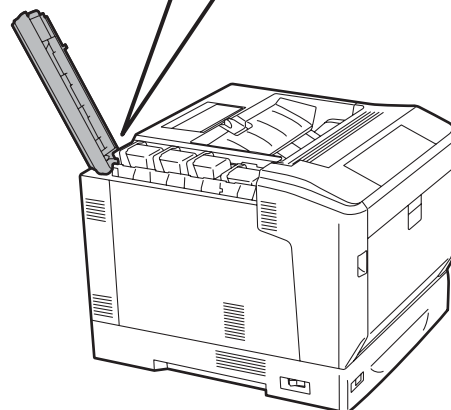
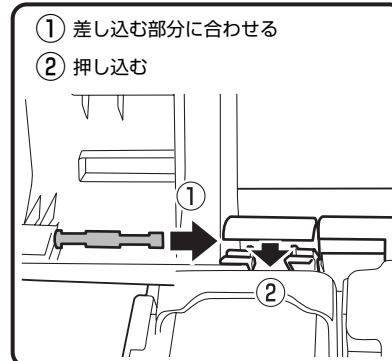


5 ②～④を繰り返し、4色全てのトナーカートリッジをセットします。

6 カバーDを閉じます。

参考

カバーDが外れたときは、以下の手順で取り付けてください。



④ ROM モジュールを取り付ける

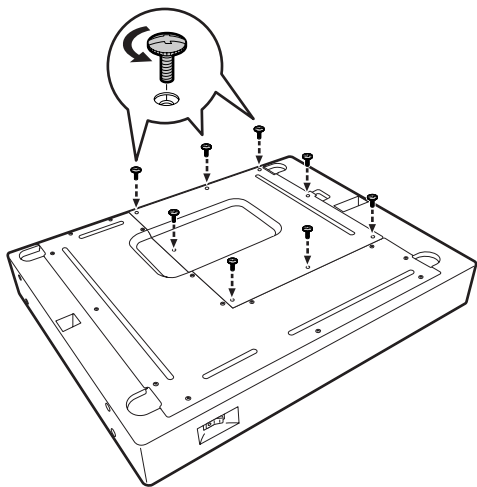
PostScript プリンターとしてお使いの場合は、オプションのROM モジュールを取り付けます。

オプションを取り付けない場合は「⑤コントローラーとスキャナーをラックに取り付ける」に進んでください。

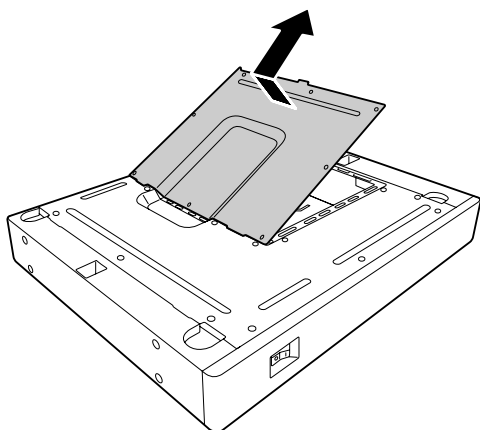
！重要

- 静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。
- ROM モジュールは慎重に取り扱ってください。必要以上に力をかけると、部品を損傷するおそれがあります。

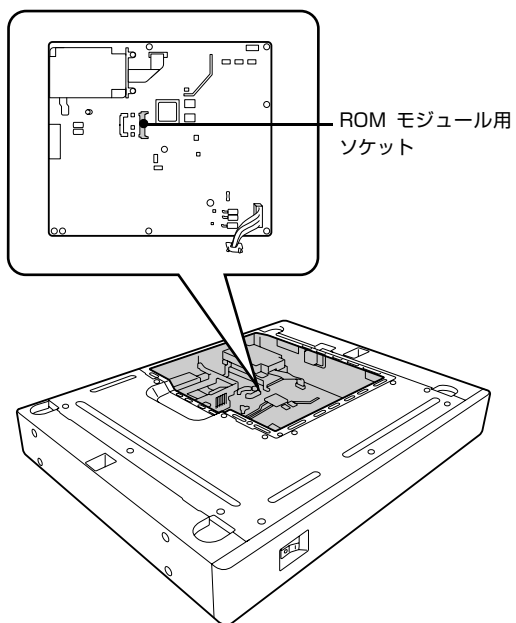
- 1 コントローラーボックスのネジ (8 個) を外します。



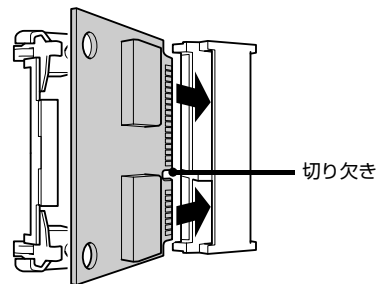
- 2 カバーを取り外します。



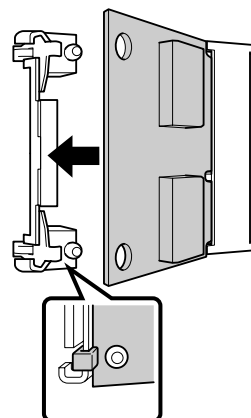
- 3 取り付ける位置を確認します。



- 4 ROM モジュールを取り付けます。
① 切り欠きとソケット内部を合わせます。

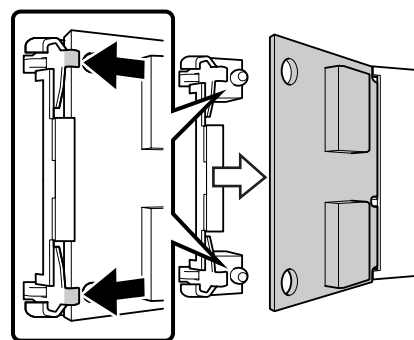


- ② 中心に力をかけ、カチッと音がするまで押し込みます。

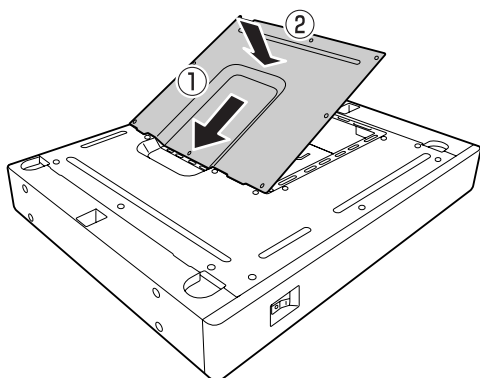


参考

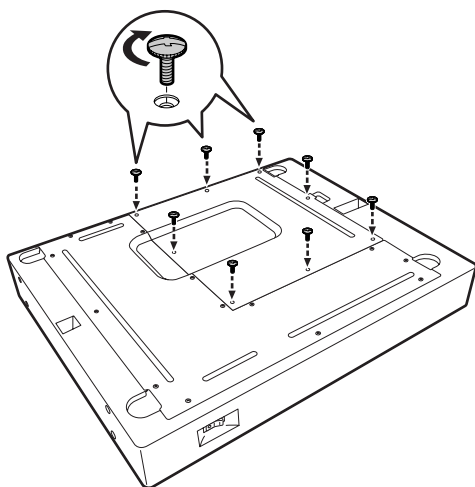
取り外したいときは、両端の金具を同時に押してください。



5 カバーを取り付けます。



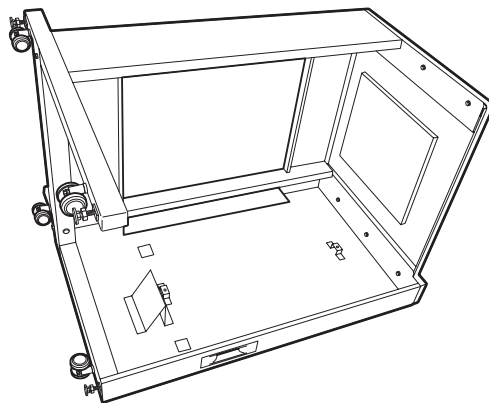
6 ネジ (8 個) で固定します。



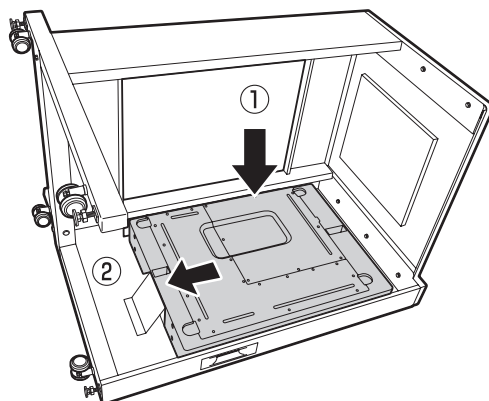
⑤コントローラーとスキャナーをラックに取り付ける

1 ラックの取扱説明書に従って、ラックを組み立てています。

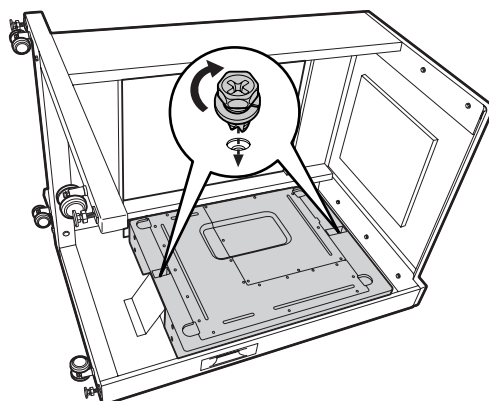
2 ラックの右側面板を下にして置きます。



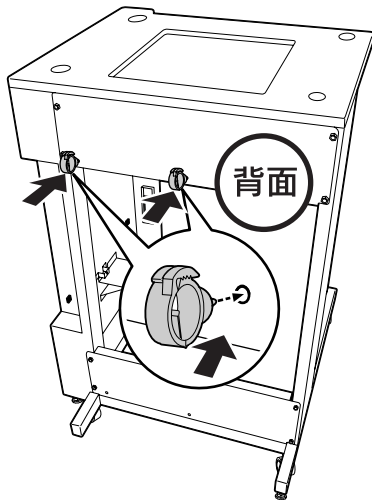
3 コントローラーボックスのゴム足側を下にして置き、ラックの底面側に寄せます。



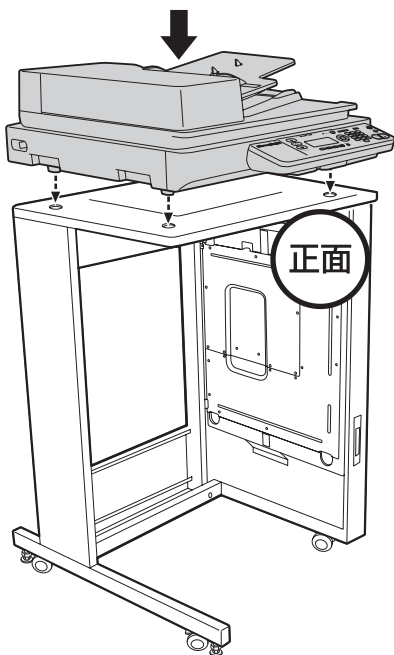
4 ラックに付属のネジ (2 個) で固定します。



- 5** ラックを起こしてから、ラックに付属のケーブルフック（2個）を取り付けます。



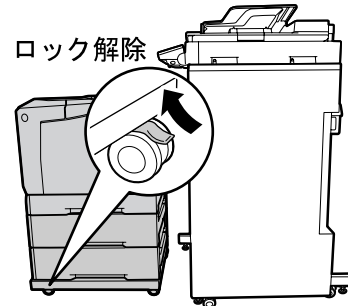
- 6** スキャナーユニット底面のゴム脚が、ラック上面のくぼみにはまるように取り付けます。



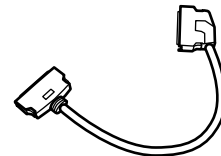
⑥ ケーブル類を接続する

接続ケーブルや接続コネクタ、コネクタの向きを間違えないで作業してください。

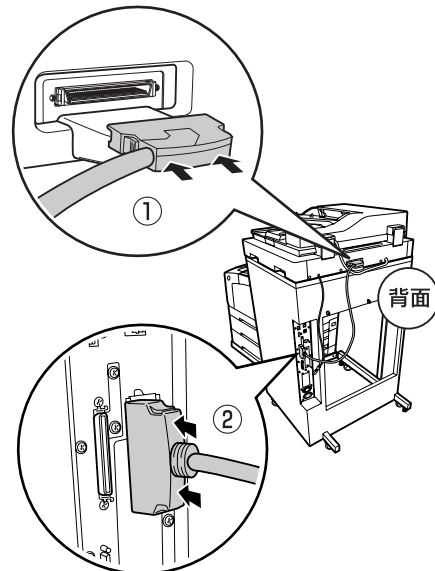
- 1** プリンター台キャスターのロックを解除し、プリンターをラックの前まで移動させます。



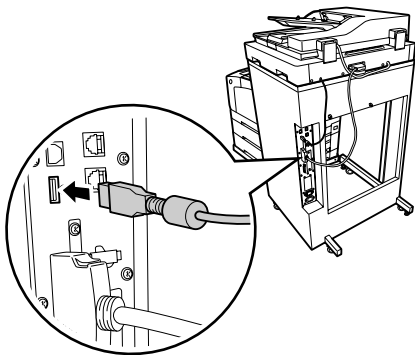
- 2** スキャナーケーブルで、スキャナーユニットとコントローラーボックスを接続します。



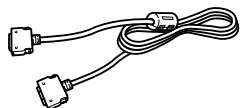
コネクタの左右がカチッと音がするまで差し込んでください。



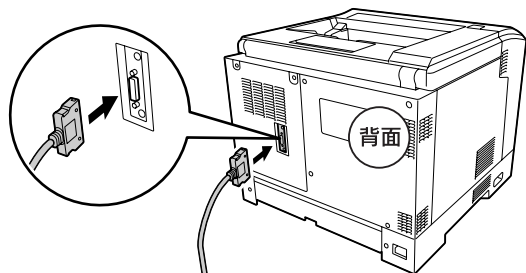
- 3** スキャナーユニット背面のUSBケーブルを、コントローラーボックスのUSBコネクタに接続します。



- 4** プリンターケーブルを、プリンターに接続します。

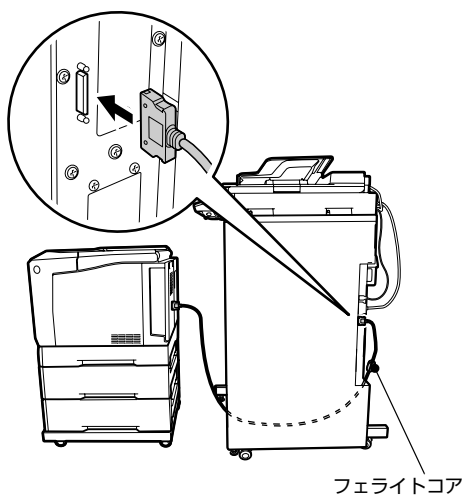


- ① フェライトコア無し側をプリンターのコネクタに接続します。



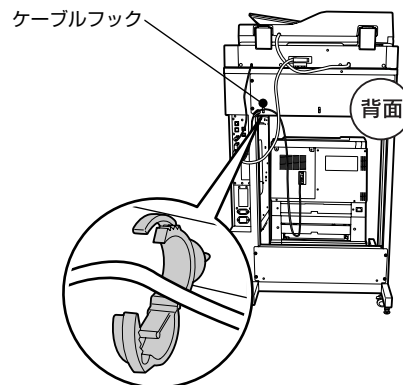
フェライトコア

- ② フェライトコア有り側を、ラックの内側を通してコントローラーボックスのコネクタに接続します。



フェライトコア

- 5** 背面左側のケーブルフックにケーブルを通します。

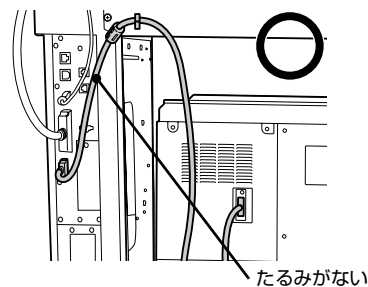


!重要

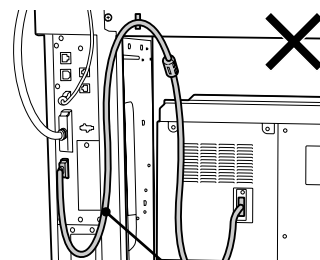
このケーブルフックには、プリンターケーブルとプリンター電源コード以外、通さないでください。

- 6** コントローラーボックス側にケーブルのたるみがないようにします。

コントローラーボックス側にたるみを持たせると、プリンターが引き出せなくなります。必ず○イラストのようにしてください。



たるみがない

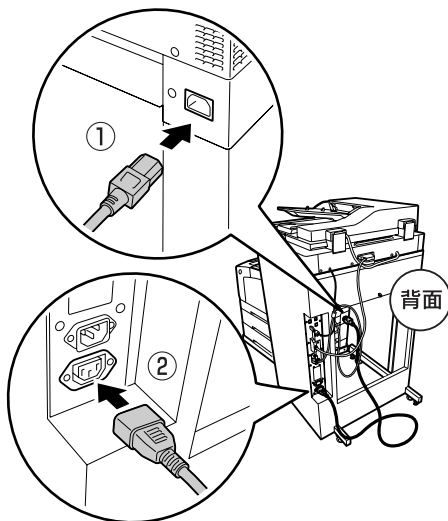


たるみがある

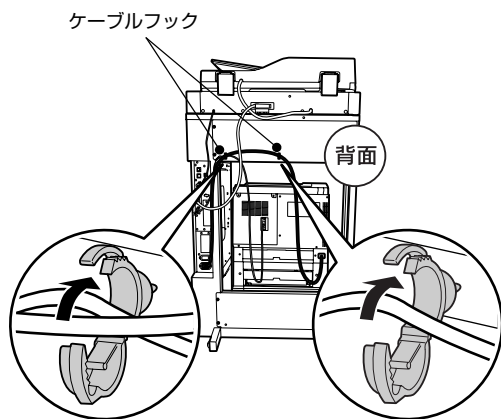
7 プリンター電源コードで、プリンターとコントローラーボックスを接続します。



- ① プリンター背面の電源コネクタに接続します。
- ② もう一方をコントローラーボックスのコネクタに接続します。

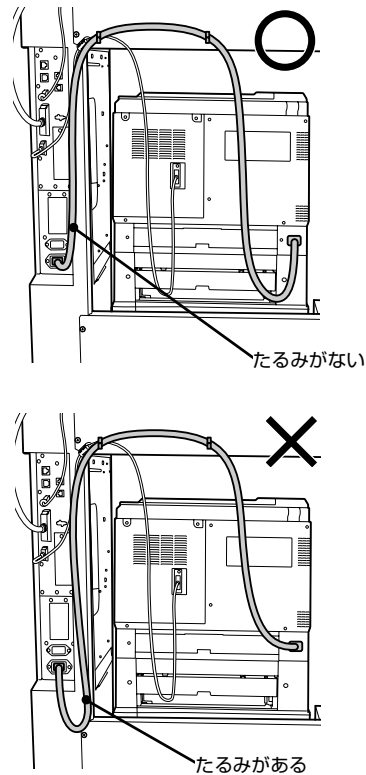


8 背面左側と中央のケーブルフックにケーブルを通します。



9 コントローラーボックス側にケーブルのたるみがないようにします。

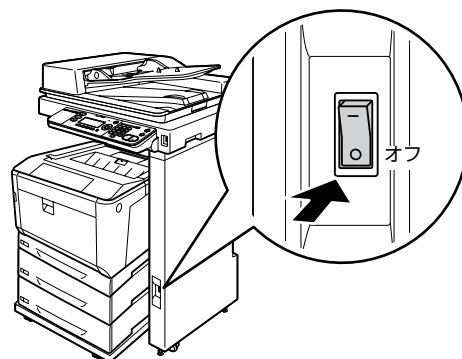
コントローラーボックス側にたるみを持たせると、プリンターが引き出せなくなります。必ず○イラストのようになしてください。



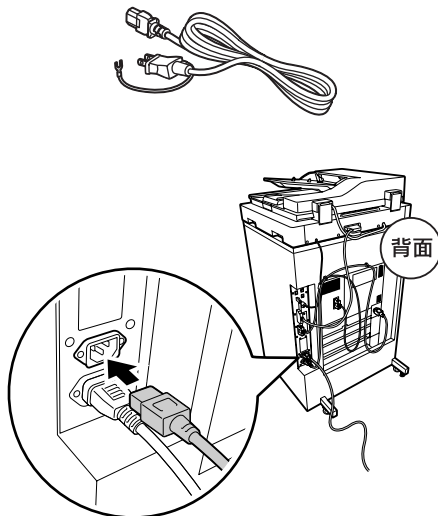
！重要

背面左側のケーブルフックには、プリンターケーブルとプリンター電源コード以外、通さないでください。中央のケーブルフックにはプリンター電源コードだけを通してください。

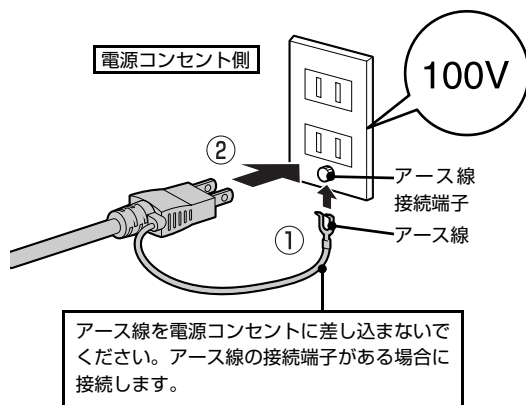
10 主電源がオフ (○) の位置になっていることを確認します。



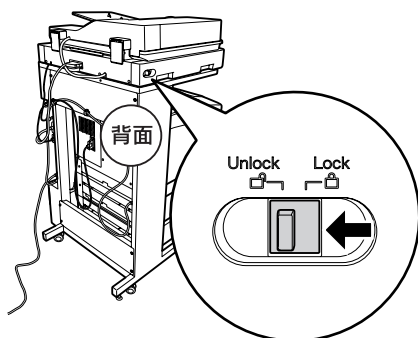
- 11** 電源コードを、コントローラーボックスに接続します。



- 12** アース線を接続端子に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。



- 13** スキャナー左側面の輸送用固定ロックを解除位置 (Unlock) にスライドさせます。

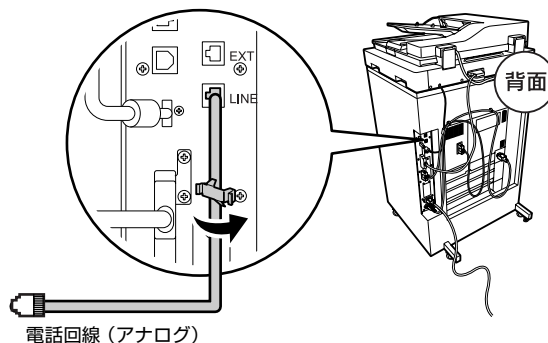


!重要

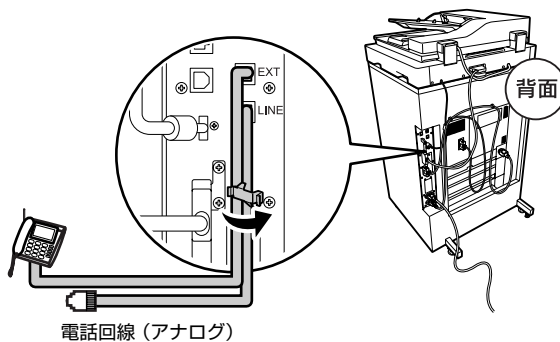
輸送用固定ロックは、輸送時以外はロックしないでください。

ファクスモデルは **14** に進みます。
それ以外のモデルは **15** に進みます。

- 14** ファクスモデルは電話回線と接続します。
LINE と刻印されたモジュージャックに電話回線を差し込み、その下のケーブルフックに通します。



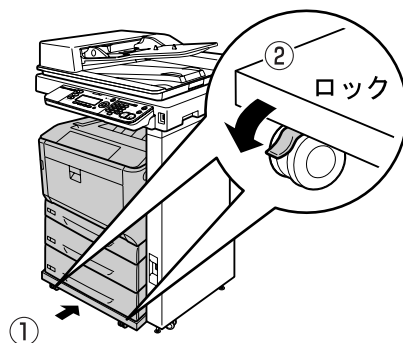
電話機と併用する場合は、EXT と刻印されているモジュージャックのキャップを外してから電話回線を接続し、その下のケーブルフックに通します。



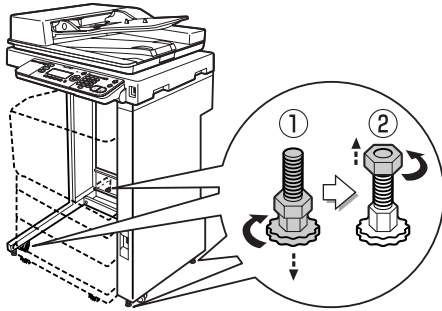
ISDN 回線、ADSL 回線、自営回線 (内線電話) での接続方法は、エプソンのホームページでご確認ください。

アドレス : <http://www.epson.jp/>

- 15** プリンターをラックの奥まで入れ、プリンター台左右のキャスターをロックします。



16 ラック四隅のアジャスターを調整し、動かないようにナットで固定します。



5. 用紙のセットと日時設定

用紙をセットしてから、操作パネルで日時やファクス（ファクスモデルのみ）の設定をします。

用紙をセットする

A4 サイズ紙を用紙カセット1にセットします。イラストはプリンター部以外を省いています。

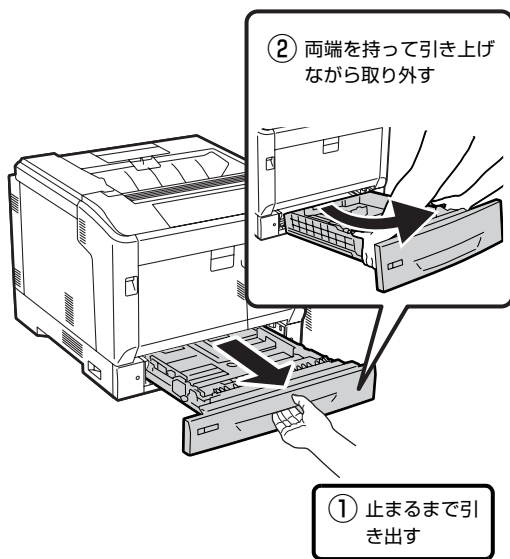
A4 サイズ以外の用紙や MP トレイへのセット方法は、以下をご覧ください。

☞『操作ガイド』（電子マニュアル）－『印刷用紙のセット』

！重要

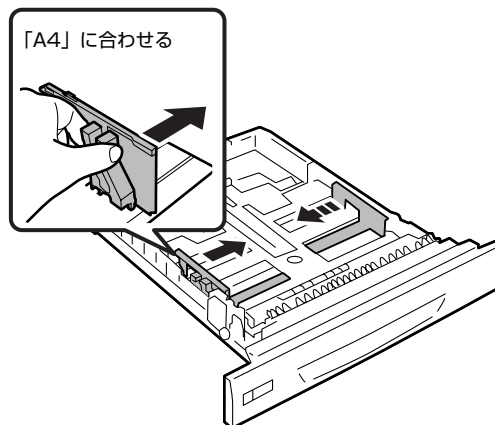
- 用紙カセットは、2段以上同時に引き出さないでください。不安定な状態になって本体が倒れるなどの可能性があります。
- 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
- 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。

1 用紙カセットを取り外します。

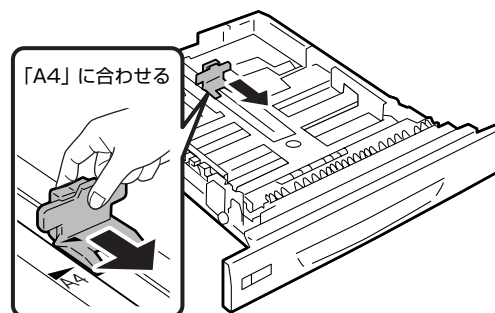


2 カセット内の「A4」の位置に用紙ガイドを移動させます。

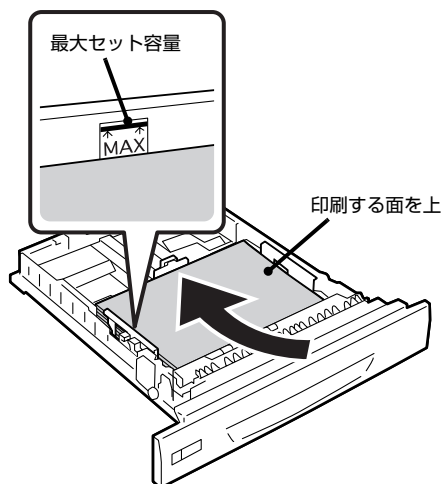
用紙ガイド A



用紙ガイド B



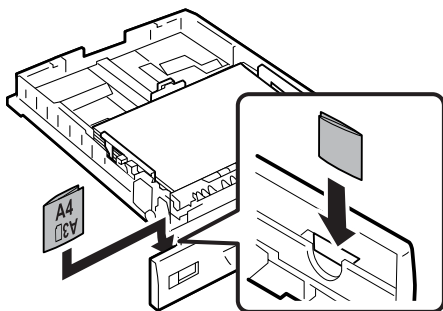
3 用紙をセットします。



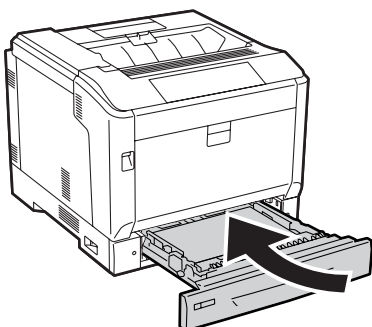
！重要

最大容量を超えて用紙をセットすると正常に給紙できないことがあります。

4 用紙サイズラベルをセットします。



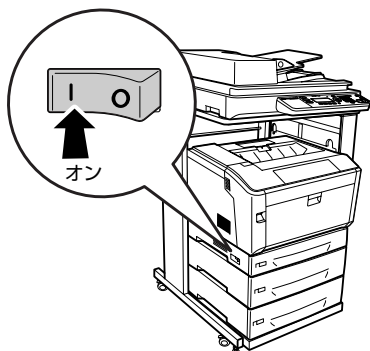
5 用紙カセットをセットします。



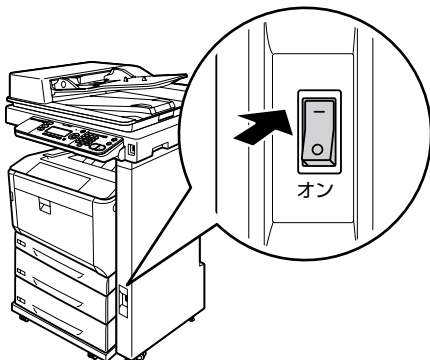
電源のオンと日時設定

必ず以下の順番で電源を入れてください。

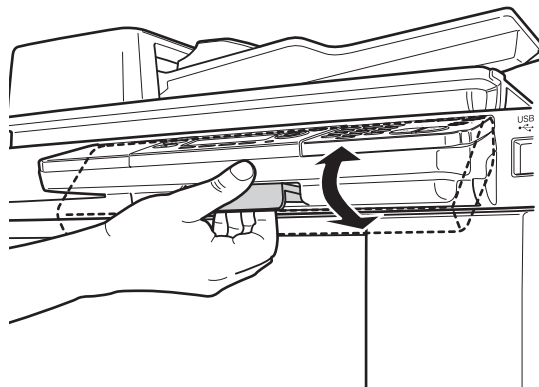
1 プリンターの電源を入れます。



2 主電源を入れます。

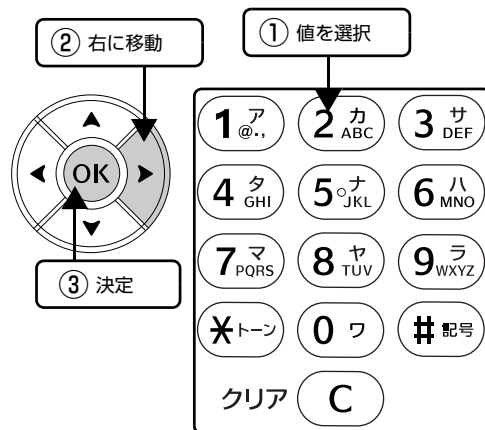


3 操作パネルの角度を調整します。
パネル下のレバーに指を掛け、手前に引き上げます。
4段階で調整できます。



4 操作パネルに【日時時刻設定】画面が表示されたら、【西暦】【月】【日】【時】【分】を設定します。

- ① テンキーまたは【▲】【▼】ボタンで数値の変更
- ② 【▶】ボタンで右に移動
- ③ 【OK】ボタンで決定



パスワードを設定する

プリンターに管理者パスワードが設定できます。設定すると、プリンターの設定値を変更する際にパスワードが要求されます。

！重要

このパスワードは、EpsonNet Config (Windows/Mac OS 用ソフトウェア) とプリンターの操作パネルの設定で共通使用します。パスワードは十分注意して管理してください。

- 1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押します。
- 2 【▲】【▼】ボタンで【管理者設定】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3 【管理者パスワード】で【OK】ボタンを押します。
- 4 【パスワード設定】で【OK】ボタンを押します。

5 【パスワード変更】で【OK】ボタンを押します。

6 【古いパスワード】と表示されたら何も入力せずに【OK】ボタンを押します。

7 【新しいパスワード】で、テンキーを使ってパスワードを入力し、最後に【OK】ボタンを押します。

【F4】ボタンを押すと、英・数・カナの入力モードが切り替わります。入力ミスしたときは【クリア】ボタンを押して消去し、入力し直してください。

8 パスワードの確認画面で7で設定したパスワードを入力します。

パスワードが設定されると「パスワードを変更しました」と表示されます。続いて、必要に応じて制限の範囲を設定します。

9 【▲】【▼】ボタンで【制限範囲 = 制限しない】を選択して【OK】ボタンを押します。

10 【▲】【▼】ボタンで制限範囲を選択し、【OK】ボタンを押します。

制限しない	パスワードを要求しない（初期値）
I/F 項目のみ	インターフェイスの設定変更時にパスワードを要求
選択項目のみ	設定値が変更できる項目のみ、パスワードを要求
全項目	操作パネルの全項目でパスワードを要求

ファクス設定(ファクスモデルのみ)

回線とダイヤルの設定

利用する回線とダイヤルの種類を設定します。

1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押します。

2 【▲】【▼】ボタンで【ファクス設定】を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【基本設定】が反転表示されている状態で【OK】ボタンを押します。

4 回線種別を確認します。

設定	説明
PSTN	Public Switched Telephone Network の略。 ご利用の環境に電話交換機がない場合に選択します。
PBX	Private Branch Exchange の略。 ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。

変更する場合は5に進みます。

このままでいい場合は7に進みます。

5 【OK】ボタンを押します。

6 【▲】【▼】ボタンで設定したい回線の種類を選択し、【OK】ボタンを押します。

7 【▲】【▼】ボタンで【ダイヤル種別】を確認します。

設定	説明
プッシュ	「ピッポッパッ」という音がするタイプの回線
ダイヤル (10pps)/ ダイヤル (20pps)	ダイヤル回線の場合に選択します。 どちらを選択するかは、電話利用時の契約内容をご確認ください。

変更する場合は8に進みます。

このままでいい場合は「自局情報の設定」に進みます。

8 【OK】ボタンを押します。

9 【▲】【▼】ボタンで設定したいダイヤルの種類を選択し、【OK】ボタンを押します。

「自局情報の設定」に進みます。

自局情報の設定

設定した自局情報は、送信ファクスに印字されます。

参考

- 全角文字で登録したいときは、EpsonNet Config を使用してください。使い方は EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
- 送信ファクスに自局番号や発信者名を表示させたくない場合は、操作パネルの【各種設定】ボタン - 【ファクス設定】 - 【送信設定】 - 【発信元記録】を【しない】に設定します。詳細は「操作ガイド」(電子マニュアル)を参照してください。

1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押します。

2 【▲】【▼】ボタンで【ファクス設定】を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【基本設定】が反転表示されている状態で【OK】ボタンを押します。

-
- 4 【▲】【▼】ボタンで[自局情報]を選択し、【OK】ボタンを押します。
 - 5 【▲】【▼】ボタンで[名称]を選択し、【OK】ボタンを押します。
 - 6 テンキーで自局名称を入力し、【OK】ボタンを押します。
【F4】 ボタンを押すと、英・数・カナの入力モードが切り替わります。入力ミスしたときは【クリア】ボタンを押して消去し、入力し直してください。
 - 7 【▲】【▼】ボタンで[番号]を選択し、【OK】ボタンを押します。
 - 8 テンキーで自局番号を入力して、【OK】ボタンを押します。
【*】 キーを押すと「+」、【#】 キーを押すとスペースが入力できます。入力ミスしたときは【クリア】ボタンを押して消去し、入力し直してください。
 - 9 番号の入力が終わったら、いずれかのモードボタンを押します。

6. 動作確認とソフトウェアのインストール

印刷やコピーができるか、オプションが正しく取り付けられたかを確認します。ここでは、該当する部分のみのイラストで説明します。

製品が正常に動作することを確認してから、プリンタードライバーなどのソフトウェアをインストールします。

印刷できるか確認する

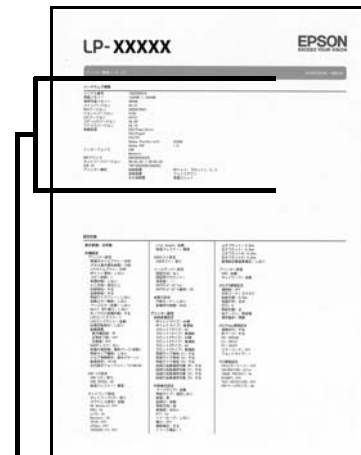
プリンター情報シートを印刷してみます。正しく印刷できるか、オプションが正しく取り付けられているかが確認できます。

- 1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押します。
- 2 【▲】【▼】ボタンで【システム情報】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3 【▲】【▼】ボタンで【レポート印刷】を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【プリンター情報シート印刷】が選択されていることを確認して【OK】ボタンを押します。

以下のようなシートが印刷されれば、プリンターに問題はありません。

プリンター情報シートの印刷例



オプションを取り付けた場合は、認識されているか確認します。



① 搭載言語

ROM モジュールを装着すると、搭載言語に「Adobe PostScript3」が追加されます。

② 給紙装置

カセット2：標準の増設1段カセットユニット
カセット3：オプションの増設1段カセットユニット

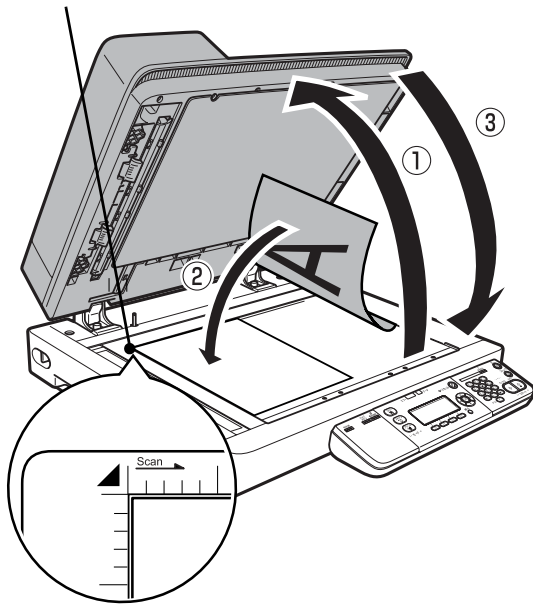
コピーできるか確認する

印刷したプリンター情報シートをコピーしてみます。

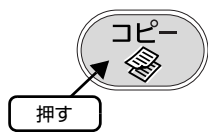
1 プリンター情報シートを原稿台上にセットします。

- ① 原稿カバーを開けます。
- ② 読み込む面を下にして、シートをセットします。
- ③ 原稿カバーを閉めます。

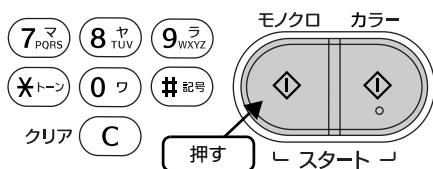
原稿の左上の角を
このマーク（原点マーク）
に合わせます。



2 【コピー】 ボタンを押します。



3 【モノクロ スタート】 ボタンを押します。

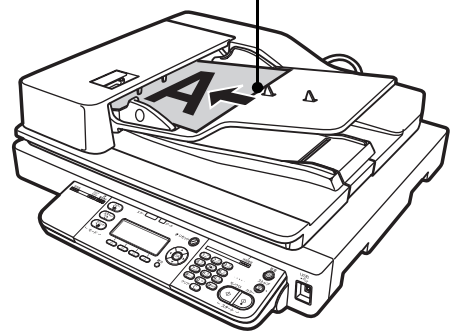


コピーできればスキャナーに問題はありません。

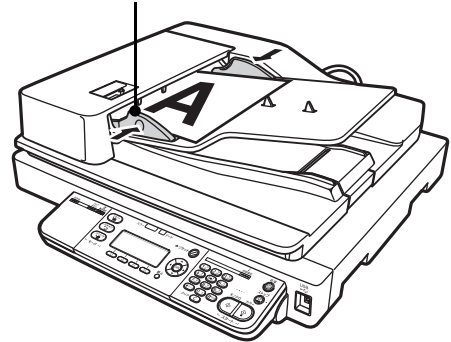
4 原稿台からプリンター情報シートを取り除きます。

5 ADF からコピーしてみます。

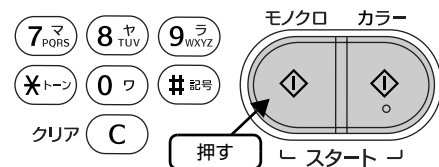
- ① ADF に、読み込む面を上にして
プリンター情報シートを差し込みます。



- ② 用紙ガイドをプリンター情報シートの
側面に合わせます。



6 【モノクロ スタート】 ボタンを押します。



コピーできれば ADF に問題はありません。

ソフトウェアをインストールする

コンピューターと接続して使用する場合は、プリンタードライバーなどのソフトウェアをインストールします。

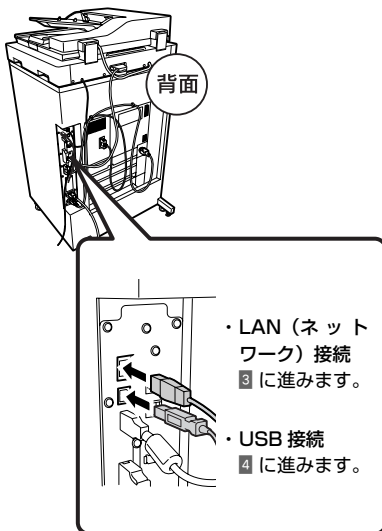
本書に記載されていない OS についてはエプソンのホームページでご確認ください。

<http://www.epson.jp/>

また、最新の情報やマニュアルは以下のページからご覧いただけます。

<http://www.epson.jp/support/>

- 1 主電源を切ります。
- 2 ケーブルを接続します。
誤接続や逆差しに注意してください。



- 3 LAN 接続の場合は主電源を入れます。
USB 接続の場合は電源を入れません。
- 4 ケーブルの一方を、LAN 接続の場合はハブに、
USB 接続の場合はコンピューターに接続します。
- 5 Web ブラウザーを起動し、以下にアクセスして、
プリンタードライバーなどをインストールします。
<http://epson.sn/>

参考

- Windows の場合は、付属のソフトウェアディスクからもインストールできます。表示された以下の画面で [必須ソフトウェアのインストールと接続設定] をクリックして作業を進めてください。



- 自動再生画面が表示されたら [InstallNavi.exe の実行] をクリックし、ユーザーアカウント制御画面では作業を続行してください。
- [電子マニュアルとソフトウェアのご案内] ボタンをクリックすると、PDF (電子) マニュアルがご覧いただけます。

困ったときは

セットアップに関するトラブルとその対処方法は以下の通りです。

参考

この他のトラブルは以下を参照してください。
☞『操作ガイド』（電子マニュアル）－「困ったときは」
ネットワーク設定に関する情報は、以下を参照してください。
☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）
また、よくあるお問い合わせをエプソンのホームページ（<http://www.epson.jp/faq/>）に掲載してありますので参考にしてください。

電源が入らない(モードのランプが点灯しない)

電源コードが抜けていたり、緩んでいませんか？

電源コードを、プリンターとコンセントに確実に差し込んでください。

正しい電圧のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確認してください。コンピューターにあるコンセントには接続しないでください。

プリンター部とコントローラーボックスを専用プリンター電源コードで接続していますか？

プリンター部背面とコントローラーボックス背面のコネクターが専用プリンター電源コードで接続されているか確認してください。

☞ 18 ページ「⑥ケーブル類を接続する」

プリンター部の電源は入っていますか？

プリンター部の電源が入っているか確認してください。入っていないときは、一旦主電源スイッチを切り、プリンター部の電源を入れてから主電源を入れてください。

プリンター部とコントローラーボックスを専用プリンターケーブルで接続していますか？

プリンター部右側面とコントローラーボックス背面のコネクターが専用プリンターケーブルで接続されているか確認してください。

☞ 18 ページ「⑥ケーブル類を接続する」

ブレーカーが作動する

ブレーカーの定格は十分ですか？

ブレーカーの定格が十分であるにもかかわらずブレーカーが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本製品用に専用配線を用意してください。

周辺の電化製品に異常が発生する

電源容量は十分ですか？

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本製品と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピューターがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、コンピューターなどが接続されている電源ラインと本製品を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。

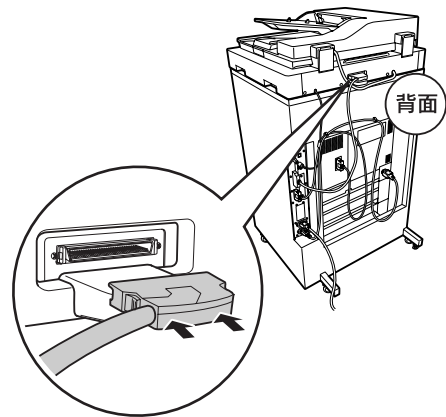
動かない

専用スキャナーケーブルが確実に差し込まれていますか？

スキャナーユニット背面とコントローラーボックス背面のコネクターに専用スキャナーケーブルが確実に差し込まれているか確認してください。確実に差し込まれていないと電源を入れたときに以下のような現象が発生します。

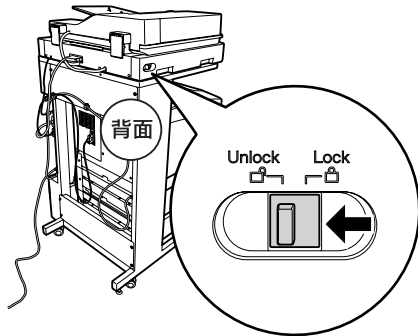
- ・スキャナーユニット左側面の輸送用固定ロックが解除されているのにも関わらず、パネルに「スキャナーロックエラー」と表示される
- ・パネルに1分以上「EPSON」と表示される
- ・パネルに何も表示されず、プリンター部のみが起動する

このようなときは、ケーブルコネクターの左右部分が、カチッと音がするまで確実に差し込まれたことを確認してください。



エラーが表示される

- ✓ **「スキャナロックエラー」と表示されている。**
スキャナーユニット左側面の輸送用固定ロックが解除されているか確認してください。解除されていない場合は、輸送用固定ロックを解除して、主電源を入れ直してください。または専用スキャナーケーブルが正しく接続されていない可能性があります。スキャナーユニット背面とコントローラーボックス背面のコネクターに専用スキャナーケーブルが確実に差し込まれているか確認してください。



- ✓ **メッセージの意味がわからない。**
パネルにヘルプボタンが表示されているときは、パネルヘルプをご覧ください。また、メッセージの意味や対処の仕方は、『操作ガイド』（電子マニュアル）の「困ったときは」に掲載されています。電子マニュアルの見方は以下を参照してください。
☞ 表紙「本書以外のマニュアルのご案内」

ソフトウェアディスクをセットしても、セットアップ画面が表示されない(Windows)

- ✓ **ディスクドライブの Autorun 機能が働いていない可能性があります。**
ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。セットアップ画面が表示されます。
- ✓ **ローカル（直接）接続で、プリンターの電源を入れたままケーブルを接続していませんか？**
Windowsの[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されたら、[キャンセル] ボタンをクリックし、プリンターの電源を切ってからソフトウェアディスクをセットしてください。
セットアップ画面が自動的に表示されないときは、ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

プリンター情報シートまたはステータスシートが印刷できない

- ✓ **電源が入っていますか？**
【節電】 ボタンのランプが消灯していますか？
操作パネルに【印刷できます】と表示されていますか？
【節電】 ボタンのランプが点灯している場合は、【節電】 ボタンを押してください。
操作パネルに【印刷できます】以外のメッセージが表示されているときは、メッセージに従って対処してください。
☞ 『操作ガイド』（電子マニュアル） - 「困ったときは」

プリンタードライバーがインストールできない(USB 接続)

- ✓ **お使いのコンピューターは本製品で対応している OS がプレインストールされたコンピューター、または Windows XP 以前の OS がプレインストールされていて Windows XP/Windows Server 2003 にアップグレードしたコンピューターですか？**
USB ポートの動作が保証されていないコンピューターは正常に印刷できません。お使いのコンピューターの詳細は、コンピューターメーカーへご確認ください。
- ✓ **Mac OS X をご使用のときに、UNIX ファイルシステム (UFS) 形式でフォーマットしたドライブにソフトウェアをインストールしていませんか？**
Mac OS X をインストールする際に、ドライブのフォーマット形式を Mac OS 拡張 (HFS+) 形式または UNIX ファイルシステム (UFS) 形式から選択することができます。本製品用のプリンタードライバーは、UFS 形式でフォーマットしたドライブでは使うことができませんので、HFS+ 形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。

ネットワークインターフェイスの設定ができない

- ✓ **LAN ケーブルが確実に差し込まれていますか？**
本製品のコネクターとコンピューターまたはハブ側のコネクターに LAN ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えて確認してください。
- ✓ **ハブは正常に動作していますか？**
ハブのポートのリンクランプが点灯/点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯している場合は、他のポートに接続して、リンクランプが点灯/点滅するかどうか確認してください。
他のポートに接続してもリンクランプが消灯している場合は、ハブの電源が入っていないかハブが故障している可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。
- ✓ **IP アドレスは正しいですか？**
TCP/IP で使用しているときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。
IP アドレスは、プリンター情報シートまたは操作パネルの【ネットワーク設定】で確認できます。
☞ 『操作ガイド』（電子マニュアル） - 「困ったときは」

給紙されない、オプションが選べない

- ✓ **プリンタードライバーで、給紙装置を選択していますか？**
プリンタードライバーで給紙装置を正しく選択しているか確認してください。オプションのカセットが選べない場合は、次項を参照してください。



オプションを、プリンタードライバーで認識させましたか？

Windows :

- ① [スタート] - [デバイスとプリンター] をクリック
- ② 本製品のアイコンを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選択
- ③ [オプション設定] 画面の [プリンター情報] で [プリンターから取得] をチェック
- ④ [取得] をクリック

オプションの情報が認識されます。

Mac OS X : [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] でプリンターを追加し直します。追加し直したときに自動的に認識されます。

[オプションとサプライ] で [ドライバ] タブをクリックすると、オプションの装着状態の確認と変更ができます。



用紙ガイドの位置は適切ですか？

用紙ガイドは必ず用紙端に合わせてください。
合っていないと、紙詰まりなどの原因にもなります。

どうしても解決できない



エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。

使用状況 (OS、アプリケーションとそのバージョン、周辺機器の型番など) と、本製品の名称や製造番号をご確認の上、お問い合わせください。

本製品の製造番号は本体背面に表示されています。

☞ 『操作ガイド』(電子マニュアル) - 『付録』 - 『製品仕様』



故障している可能性があります。

- 保守契約されている場合
保守契約店に連絡してください。
- 保守契約されていない場合
お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

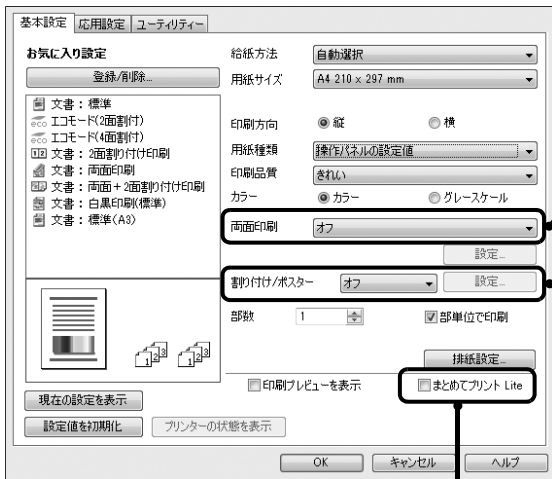
☞ 裏表紙

こんなことができます

詳細な説明や手順、設定の仕方は『操作ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。電子マニュアルの見方は、本書の表紙に掲載してあります。

プリント機能

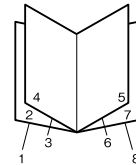
コンピューターからはさまざまな印刷ができます。USB メモリーから直接印刷することもできます。



両面印刷



製本印刷



割り付け印刷

2 ページまたは 4 ページを 1 ページに割り付けます。

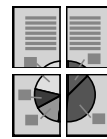


割り付け印刷 + 両面印刷



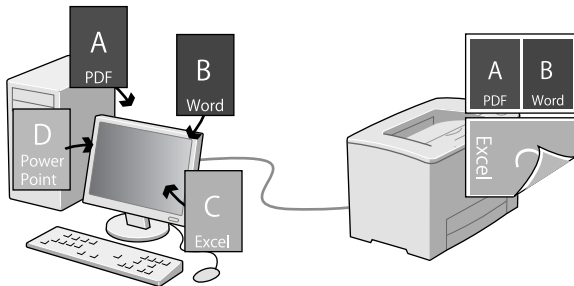
ポスター印刷

出力紙を貼り合わせて大きな印刷物が作れます。



異なるデータを 1 つにまとめて印刷

異なるアプリケーションソフトで作成した複数のドキュメントを 1 回にまとめて印刷できます。

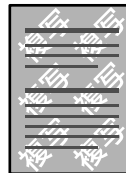


視認性を向上させて印刷

色付きの文字やグラフ、イメージデータを修飾（下線や背景を付けるなど）して視認性を高めた印刷ができます（カラーユニバーサルプリント）。

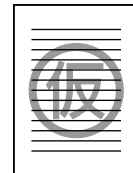


透かし印刷



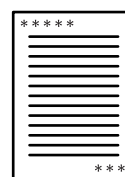
不正コピーの抑制などに役立ちます。

スタンプマーク



テキストやビットマップのオリジナルのマークも登録できます。

ヘッダー / フッター



ユーザー名、日付、時刻、部番号などが設定できます。

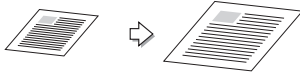
パスワード印刷

プリンタードライバーでパスワードを設定し、プリンターの操作パネルで設定したパスワードを入力すると印刷されます。

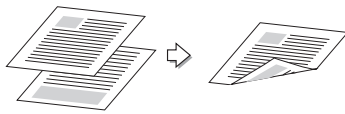
コピー機能

用紙が節約できる縮小や両面、割り付けの他に、本などのコピーに適した影消しやページ連写などのコピーができます。

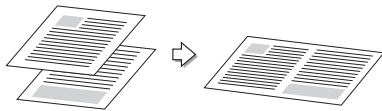
- 拡大縮小コピー



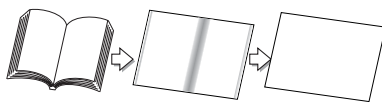
- 両面コピー



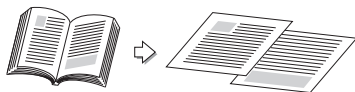
- 割り付けコピー



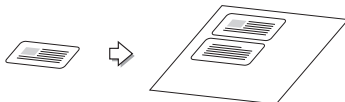
- 影消しコピー



- 影消しコピー見開き原稿を別々にコピー (ページ連写)

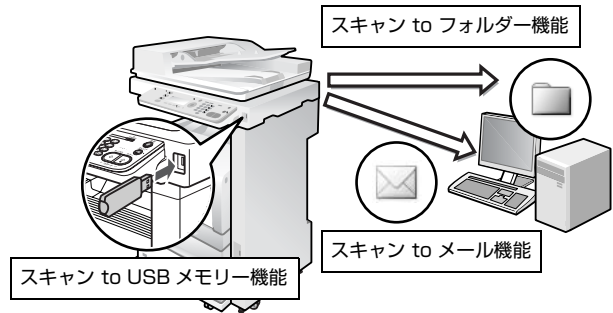


- ID カードの両面を割り付けコピー



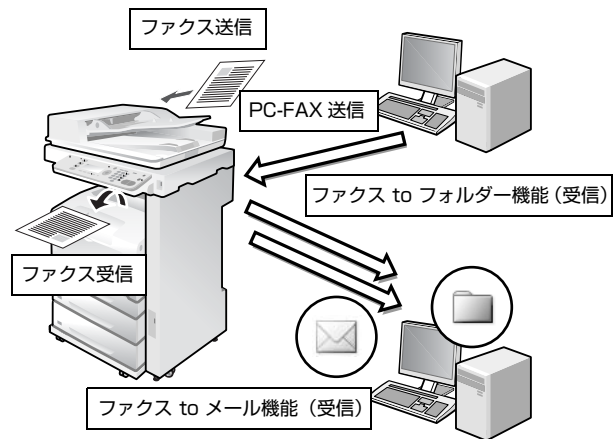
スキャン機能

コンピューターや操作パネルからスキャンできます。スキャンしたデータをUSBメモリーや共有フォルダーに保存したり、指定したコンピューターに送信することもできます。また、WSD スキャンにも対応しています。



ファクス機能

カラーまたはモノクロ原稿のファクス送受信の他に、接続されたコンピューターからの操作で送信したり、受信したファクスデータを共有フォルダーに保存したり、メールの添付ファイルとして受信したりできます。



●EPSONのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したEPSONのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●製品に関するご質問・ご相談先(EPSONインフォメーションセンター)

製品に関するご質問・相談に電話でお答えします。

050-3155-8055

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 *一部対象外機種がございます。詳しくは下記のEPSONのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白坂2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 ウイングビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、EPSONのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・鳥取修理センター:0857-77-2202

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のEPSONのホームページでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

050-3155-7150

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、EPSONのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(EPSONサービスコールセンター)**050-3155-8600**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●製品の最新ご購入に関するご質問・ご相談先(購入ガイドインフォメーション)

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

●ショールーム *詳細はホームページでも確認いただけます。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階
【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

EPSON製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、EPSONに興味をお持ちの方への会員情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。**●消耗品のご購入**

お近くのEPSON商品取扱店及びEPSONダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はEPSONのホームページ(<http://www.epson.jp/support/>)にてご確認ください。

EPSON販売株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(LP) 2016.03



413152300